

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【国語】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	1年	<p>○読み書きが完全に習得することができていない児童が数名いる。また、濁点や半濁点、拗音、促音の表記の間違いが多く、十分に定着できていない。初めて見た文章の意味を捉えられない児童がいる。</p> <p>○自分の思ったことや考えたことを、話したり、書いたりすることに慣れていない。そのため、教材文を読み、登場人物の気持ちを考える際に、自分の考えをもてない児童が数名いる。</p>	<p>○正しく表記する力 ○文章の意味を捉える力</p> <p>○自分の考えをもつ力 ○自分の考えを書く力 ○自分の考えを話す力</p>	<p>○音読や文字表記の習得については、継続して繰り返し指導をする。挿絵などを活用しながら、文章の意味がわかるようにする。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えとの相違点に気付かせる活動を繰り返し、自分の考えをもてるようにする。文章を書いて表現する活動や話して表現をする活動を増やし自分の意見を表現する機会を増やす。</p>
令和4年度	2年	<p>○新出漢字の画数が増え、漢字の習得が不十分な児童が増えてきている。特に、誤った書き順により、字形の崩れが目立つ。</p> <p>○自分の思ったことや考えたことを、話したり、書いたりする際に必要な語彙が不足している。そのため、自分の思いや考えと、表現した言葉や文が一致していない。</p>	<p>○正しく表記する力 ○既習漢字を活用する力</p> <p>○自分の考えを書く力 ○自分の考えを話す力 ○豊かに表現する力</p>	<p>○漢字の意味や書き順を丁寧に確認し、正しい書き順で、意味を考えながら覚えられるように指導する。ノート指導などの場面で、既習漢字を使って書くように指導をする。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えとの相違点に気付かせる活動を通して、様々な表現に気付かせる。年間を通して教室掲示等で語彙に触れさせる。</p>
令和5年度	3年	<p>○物語を読み取り、そこから自分の考えをもち、文章に表すことの個人差が大きい。</p> <p>○新出漢字の練習は意欲的に行うが、熟語になると書けなかったり、文章の中で使ったりすることができない。</p> <p>○相手や目的を意識して、経験したことや感じたことを分かりやすく書くことが十分でない。</p>	<p>○自分の考えを適切に表す力 ○豊かな語彙力</p> <p>○既習漢字を活用する力</p> <p>○内容の中心を明確にし、相手意識や目的意識をもって書く力</p>	<p>○叙述を基に考えられるよう、理由が書かれている部分に線を引いたり、中心となる語や文を見付けたりして、考えの根拠を明確にする力を育てる。</p> <p>○分かりにくい言葉を、国語辞典で調べ、語彙力を高める。</p> <p>○漢字を正しく使って文章を書くように指導する。</p> <p>○話型を提示し、そのときに合った話型を指導する。</p>
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【社会】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和5年度	3年	○自分たちが暮らす町のことに興味をもって考えられる児童が少ない。	○社会的事象を身近な生活と結び付けて考えられる力	○児童が経験したことや知っていることなどを全体で共有したり、町の様子分かる資料を提示して物事を考えやすくする。
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【算数】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	1年	<p>○数の合成や分解の理解が、十分でないため、計算に時間がかかったり、正確に計算できなかつたりする児童がいる。</p> <p>○文章問題を読んで、足し算なのか引き算なのかを判断することができない児童がいる。</p>	<p>○数の合成や分解をすぐに理解する力</p> <p>○正確に計算できる力</p> <p>○文章を正しく読み取り、立式する力</p>	<p>○算数ブロックなどの操作活動を繰り返し行い、理解を深める。</p> <p>○文章問題を読みながら、数字を確認し、立式に生かすよう支援する。</p> <p>○問題文から場面をイメージできるよう、絵や図を使って説明する。</p> <p>○自分で文章問題を作り、加法や減法の場面を意識できるようにする。</p> <p>○授業や朝学習、家庭学習で、いろいろな問題に取り組みせて、繰り返し練習する。</p>
令和4年度	2年	<p>○繰り上がり・繰り下がりの計算ができない児童がいる。</p> <p>○時刻と時間の学習では、時刻を正確に読めない児童がいる。</p>	<p>○たし算・ひき算を正確に計算する力</p> <p>○時刻を正確に読む力</p>	<p>○算数ブロックや20玉そろばんを用いながら、基礎基本の復習を授業に取り入れる。</p> <p>○普段の生活から、時間を意識させる。特に長針は5分ずつ数えることを理解させる。</p>
令和5年度	3年	<p>○繰り上がり、繰り下がりの計算やかけ算九九などの基礎的な計算ができていない児童がいる。</p> <p>○文章問題を理解して立式し、答えを求めることが苦手な児童が多い。</p>	<p>○繰り上がり、繰り下がりの計算とかけ算九九の定着</p> <p>○問題を丁寧に読み、何算になるか考えて計算する力</p>	<p>○宿題や授業内などで練習問題に取り組む時間を増やす。</p> <p>○数直線や図示をして、式と問題文を結び付け、何を求めればよいか考えられるようにする。</p>
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【理科】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和5年度	3年	<p>○植物や昆虫の観察は意欲的に行うが、特徴や変化を捉えることが不十分である。</p> <p>○日常生活の気付きから、調べたいと思う事柄を考え、学習問題をたてることに個人差がある。</p> <p>○意欲的に実験をするが、何を調べるために実験しているのかが分かっていないまま実験している児童が多い。</p>	<p>○細かいところまで観察をし、自分の言葉で表現する力</p> <p>○自分が調べたい事柄から学習問題をたてる力</p> <p>○実験し、そこから考えられることをまとめる力</p>	<p>○色や大きさ、形に視点を絞り、どんな言葉で表現できるかや身近なものに例えられるかを考えさせる。</p> <p>○日常生活と学習をつなげるために、日常生活の自然現象を児童が身近に感じられるような導入を取り入れる。</p> <p>○実験方法の確認や、実験結果の整理、結果から考えられることなどの過程を一つ一つ丁寧に説明し、実験によって問題を解決することを理解させる。</p>
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【音楽】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	1年	○音楽に合わせて拍やリズムを打つ活動で、一人で打つと合わない児童がいる。	○音楽に合わせて即興的にリズムを打つことができる力	○学級全体で、音楽に合わせて楽しくリズム打ちする活動を繰り返す。 ○一人ずつ呼び掛けに答えたり、即興的にリズムをつなげたりする活動を取り入れる。
令和4年度	2年	○手拍子でリズムを打つ時に、拍にのれなかったり、拍によって楽器を演奏することが難しい児童がいる。(学習内容によるが2割程) ○歌唱で音程がなかなか合わない児童が1割いる。	○拍によってリズムを打ったり楽器を演奏したりする能力 ○伴奏や範唱を聴きながら音程に気を付けて歌う能力	○リズム打ち活動を多く取り入れ、形態を変えながら楽しく取り組む。 ○鍵盤ハーモニカの演奏が困難な児童には、演奏する箇所を区切って担当を分ける、演奏する部分を限定する、簡単な音に変えて演奏させるなど、取り組みやすい方法を示す。 ○童話などの音域がせまい歌を多く取り入れる。
令和5年度	3年	○楽譜を見て正しいリズムで演奏することが難しい児童がいる。 ○リコーダーの運指を覚えるのが苦手な児童、手の構えを保持するのが難しい児童、息の強さを調節するのが難しい児童がいる。 ○少しの間違いで挫けてしまい、取り組むことができない児童が一定数いる。	○楽譜を読み、拍によって正しいリズムで演奏する力 ○リコーダーの運指を覚え、手の形を保ち、息の強さに気を付けてやわらかい音色で演奏する力 ○演奏中に間違っても、挫けずに繰り返し練習に取り組もうとする態度	○簡単なリズム譜を読んで打つ活動を頻繁に取り入れる。 ○毎時間、運指表を掲示する。机間指導で手の形を指導して回る。毎回、息の強さを数値で評価し、どの程度の強さで吹くとよいか分かりやすくする。 ○スモールステップでの学習を心掛け、自信をもてるようにする。
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【図工】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	1年	<p>○作品を作ることを通して、クレパスやはさみ、のりなどの使い方を安全に気を付けて練習したが、まだ上手に使える児童もいる。</p> <p>○友達の作品を見たり聞いたりして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付かせるための指導が十分でない。</p>	<p>○身近な材料や扱いやすい用具を使用し、表し方を考えて表す力</p> <p>○自分の作品や友達の作品を見たり話を聞いたりして、作品のよさに気付く力</p>	<p>○造形活動の基礎となる技能は、今後も繰り返し指導を続ける。</p> <p>○絵の具については、準備から片付けの仕方まで一つ一つ丁寧に指導を行う。</p> <p>○彩色法については、順序立てて教え、表現の幅を広げる。</p> <p>○知識や技能の習得のために、具体的な掲示物を使い、確実に理解させる。</p> <p>○友達の作品を見て、どこがよかったかを書かせ、発表することを繰り返す。</p>
令和4年度	2年	<p>○作品を作ることを通して、クレパスやはさみ、のりなどの使い方を安全に気を付けて引き続き練習し、新たにカッターを使えるようにする。</p> <p>○友達の作品を見たり聞いたりして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付かせるための指導が十分でない。</p>	<p>○身近な材料や扱いやすい用具を使用し、表し方を考えて表す力</p> <p>○自分の作品や友達の作品を見たり話を聞いたりして、作品のよさに気付く力</p>	<p>○造形活動の基礎となる技能は、今後も繰り返し指導を続ける。</p> <p>○カッターについては、持ち方、使い方、しまい方まで一つ一つ丁寧に指導し、練習して慣れさせる。</p> <p>○彩色法については、少しずつ新たな技法を取り入れ、表現の幅を広げる。</p> <p>○知識や技能の習得のために、具体的な掲示物を使い、確実に理解させる。</p> <p>○自分の作品について振り返らせるとともに、友達の作品を見て、どこがよかったかを書かせ、発表することを繰り返す。</p>
令和5年度	3年	<p>○授業に意欲的に取り組める児童が多い一方で、集中力が長く続かず、離席や手が止まってしまう児童が数名いる。</p> <p>○手先が不器用で、完成度を高めにくく細かい作業が苦手な児童がいる。</p>	<p>○創造的に発想や構想をしたり、身の周りの作品などから、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○楽しく表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○アイディアスケッチを行い、発想や表現を構想する時間を十分に取る。児童の発想が湧くような声掛けをする。</p> <p>○身近にある素材を中心に、のこぎりやかなづちなどの道具の基本的な扱いについて繰り返し指導する。</p> <p>○友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、豊かな鑑賞の機会を設定する。</p>
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【体育】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	1年	<p>○鉄棒運動やボールを投げる、捕るなどの活動では、基本的な技能ができていない児童とできていない児童の個人差が大きい。</p> <p>○固定遊具を使用した運動では、苦手な遊具にも挑戦し、習得しようとする力が十分ではない。</p>	<p>○固定施設や道具を使って、運動する力</p> <p>○新しい技に挑戦する力</p>	<p>○一つの運動領域において、様々な体の動かし方を繰り返し行うことで基本的な技能ができるようにする。</p> <p>○元気アップガイドブックを活用する。</p> <p>○ゲームなどを取り入れ、体を動かすよさや楽しさを味わわせていく。</p>
令和4年度	2年	<p>○ボールを使った運動では、腕を使って、上手に投げる動作ができていない児童がいる。</p> <p>○ルールを理解して、友達と協力して取り組めることが十分ではない。</p>	<p>○ボールを使って運動する力</p> <p>○ルールを理解して取り組む力</p>	<p>○ボールを投げる、捕る動作を意識した運動を授業に取り入れる。</p> <p>○授業の導入では、時間をかけてルールや目的を伝える。チームや友達との作戦を考える時間をとる。</p>
令和5年度	3年	<p>○ルールを理解し、決まりを守って仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたりする力</p> <p>○活動に意欲的に取り組む児童が多いが、動き方の工夫を見付けたり、友達の良いところを見付けたりするところが不十分</p>	<p>○ルールを理解して取り組む力</p> <p>○勝敗を受け入れる力</p> <p>○友達のよさを見付ける力</p>	<p>○ルールを分かりやすくするように資料を掲示したりICT機器で事前に確認したりする。また、どのようなルールだとみんなが楽しめるか考えさせながら活動に取り組めるようにする。</p> <p>○友達の動きを見合う時間を設け、互いに良いところや改善点などを伝え認め合う力を身に付けさせる。</p>
令和6年度	4年			
令和7年度	5年			
令和8年度	6年			